

第三章 食肉販売店の仕入動向

－ 要 約 －

【食肉の仕入構成と仕入量】

- 平成22年10月1ヶ月間の1店当たり仕入量は、「牛肉」625kg、「豚肉」1,176kg、「鶏肉」949kgである。
- 食肉の仕入構成比は、「牛肉」が28.7%、「豚肉」が53.3%、「鶏肉」が18.0%である。
- 業態別で見ると、「総合スーパー」「食品スーパー」「食肉小売店」では前回調査に比べて仕入量が減少。「百貨店」「食肉小売店」では牛肉の仕入比率が高く、約4割となっている。
- 地域別では、1店当たり仕入量は「北海道」で2,991kgと最も多く、最も少ない「九州・沖縄」の2倍を占める。「近畿」「四国」は「牛肉」の仕入比率が高く、「北海道」「東北」では、「豚肉」の仕入比率が高い。
- 品種別で見ると、牛肉は国産牛肉が76.5%で、そのうち「和牛肉」が42.1%を占める。豚肉は「黒豚肉」「SPF豚肉」「銘柄豚肉」が合わせて40.2%、「その他国産豚肉」が43.8%、鶏肉は国産鶏肉が80.1%を占める。

【食肉仕入時の重視項目】

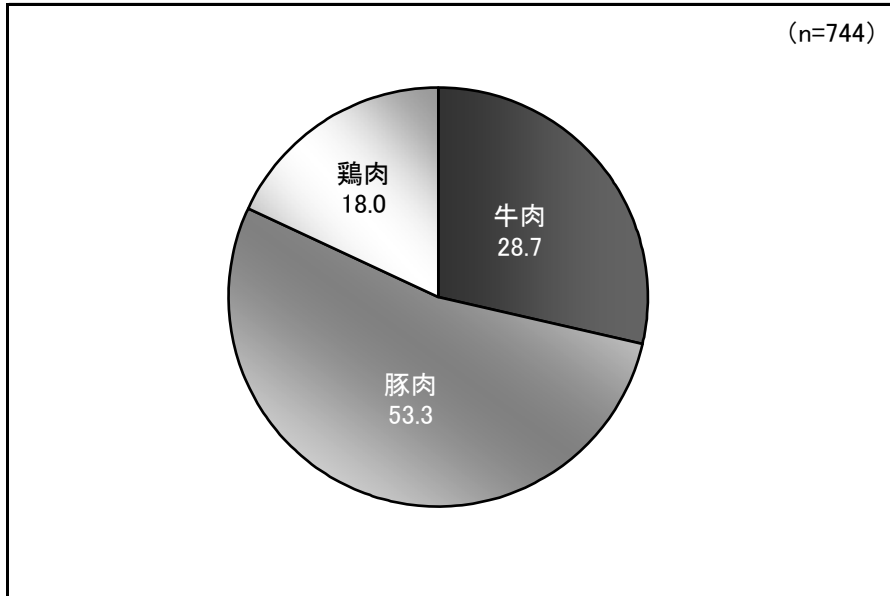
- 仕入時に重視する項目は、「価格」(31.3%)が最も多く挙げられた。次いで「肉色」(19.5%)、「産地」(13.2%)と続く。また、輸入肉の場合は「価格」を重視する傾向がより強く、「米国産牛肉」「豪州産牛肉」「輸入豚肉」では約4割、「輸入鶏肉」では約半数が「価格」と回答している。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 肉種別にみる仕入構成と仕入量

■ 図表Ⅲ-1 肉種別仕入構成比

(単位:%)



仕入構成比をみると、「牛肉」が28.7%、「豚肉」が53.3%、「鶏肉」が18.0%となっており、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 肉種別にみる仕入構成と仕入量

■ 図表Ⅲ-2 肉種別仕入構成比と仕入量

	全店舗	牛肉	豚肉	鶏肉
回答店舗数	744	703	694	291
総仕入量 (kg)	1,531,052	439,082	815,877	276,093
1店当たり仕入量 (kg)	2,058	625	1,176	949
構成比 (%)	100.0%	28.7%	53.3%	18.0%

□ 1店当たりの仕入量は、「牛肉」625kg、「豚肉」1,176kg、「鶏肉」949kg

平成22年10月1ヶ月間の1店当たり仕入量は合計で2,058kgであり、前年と比べると566kg減少している。仕入量が減少した要因の一つとしては、回答店舗に占める「食肉小売店」の比率が前年に比べ多くなっていることが挙げられる。前回調査では、「食肉小売店」の回答店舗に占める比率が40.2%であったのに対して、今年は47.2%に増えている。さらに「総合スーパー」は前年3.8%が今年3.3%に、「食品スーパー」は前年43.7%が今年39.9%に、「農協・生協ストア」は前年6.8%が今年5.8%に減少している。結果として全体的に規模の大きい店舗の回答比率が減り、規模の小さい店舗の回答比率が高まったことにより1店当たりの仕入量が減少したものと考えられる。また、「図表Ⅲ-3 肉種別仕入構成比と仕入量の推移：業態別」で示すとおり、「総合スーパー」「食品スーパー」の仕入量が減少したことも要因の一つとして挙げられる。これは回答したチェーン店によって運営方法や規模の違いがあることが考えられ、それによって結果が大きく変動している可能性がある。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 肉種別にみる仕入構成:業態別

■ 図表Ⅲ-3 肉種別仕入構成比と仕入量の推移:業態別

		回答 店舗数	1店当たり 仕入量 (kg)	仕入構成比(%)		
				牛肉	豚肉	鶏肉
百貨店	H20	15	3,475	41.3	46.8	11.9
	H21	17	2,608	42.9	34.5	22.6
	H22	31	3,994	37.6	43.9	18.5
総合スーパー	H20	11	2,287	26.1	60.6	13.3
	H21	15	4,726	29.3	50.4	20.3
	H22	22	3,977	25.0	47.7	27.3
食品スーパー	H20	153	3,757	24.7	56.6	18.7
	H21	162	4,183	22.4	58.3	19.2
	H22	258	3,299	23.8	55.6	20.7
農協・生協ストア	H20	16	1,325	21.4	64.7	13.8
	H21	24	1,650	23.5	47.3	29.2
	H22	39	2,308	18.4	62.9	18.8
食肉小売店 (専門店)	H20	270	922	33.2	54.3	12.5
	H21	192	1,271	40.7	47.1	12.2
	H22	393	952	40.5	50.2	9.3
その他	H20	9	564	44.0	52.7	3.3
	H21	9	2,545	23.0	66.9	10.2
	H22	1	4,170	13.2	55.2	31.7

□ 「総合スーパー」「食品スーパー」「食肉小売店」では前回調査に比べて1店当たり仕入量が減少

前回調査に比べて、「総合スーパー」「食品スーパー」「食肉小売店」では1店当たり仕入量が減少している。特に「総合スーパー」と「食品スーパー」の減少幅が大きいのが目立つが、こちらの要因については、Ⅲ-2で述べた通りである。

□ 「百貨店」「食肉小売店」では牛肉の仕入比率が高い

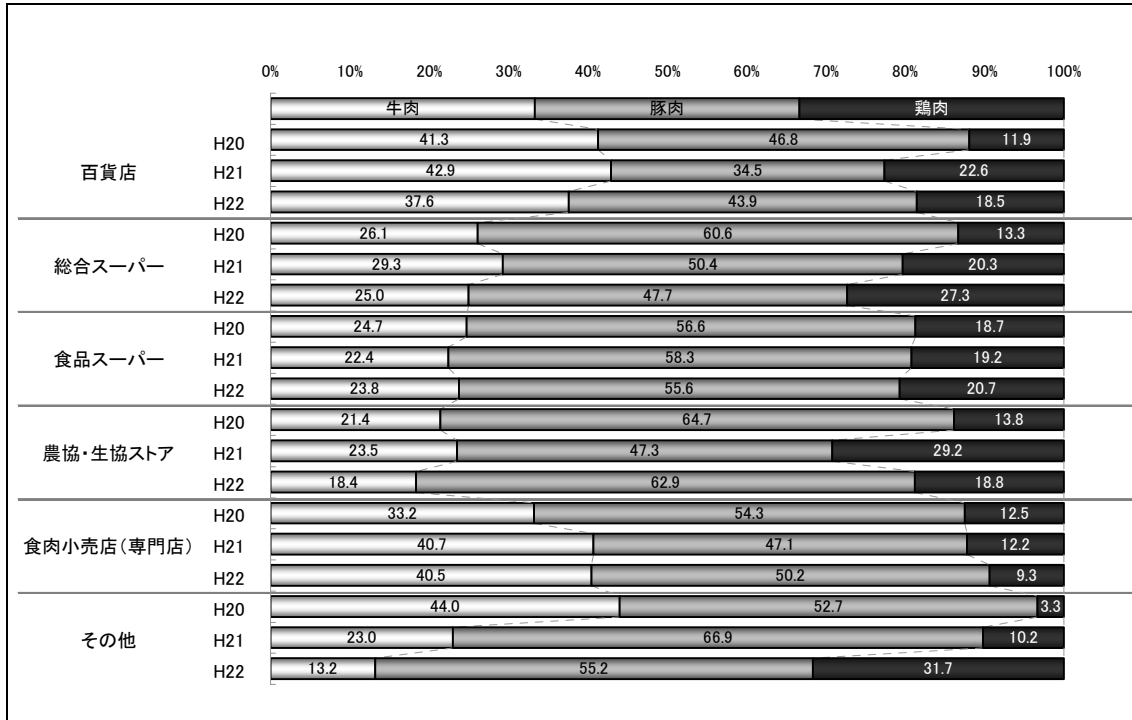
肉種別の仕入構成比をみると、「百貨店」と「食肉小売店」では他業態に比べ「牛肉」の仕入構成比が高く約4割となっているが、前回と比べると、「食肉小売店」がほぼ同率の仕入をしているのに対し、「百貨店」は「牛肉」が減り「豚肉」の比率が増えている。「総合スーパー」では「牛肉」「豚肉」が減り、「鶏肉」が増えている。「農協・生協ストア」は大幅に「豚肉」の仕入比率が増えており、仕入構成比が6割を超えている。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 肉種別にみる仕入構成:業態別

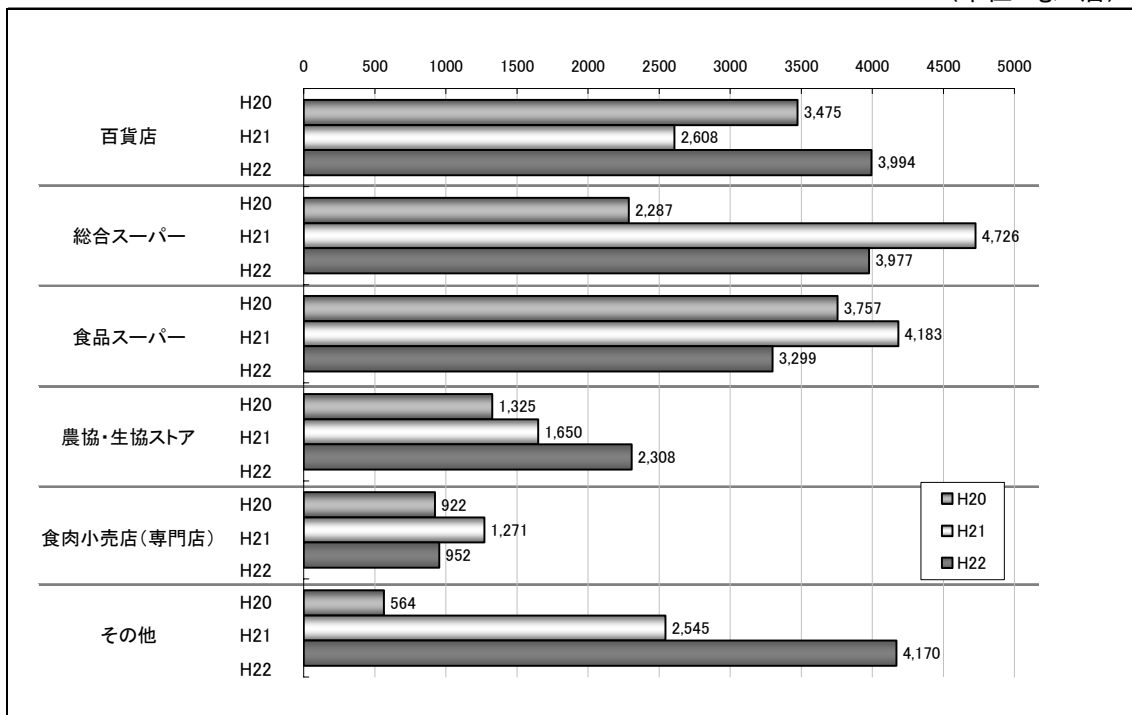
■ 図表Ⅲ-4 肉種別仕入構成比の推移:業態別

(単位:%)



■ 図表Ⅲ-5 1店当たり食肉仕入量の推移:業態別

(単位:kg/店)



1 食肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

3. 肉種別にみる仕入構成: 地域別

■ 図表Ⅲ-6 肉種別食肉仕入構成比と仕入量の推移: 地域別

		回答 店舗数	1店当たり 仕入量 (kg)	仕入構成比(%)		
				牛肉	豚肉	鶏肉
北海道	H20	21	1,994	17.8	53.9	28.3
	H21	29	2,546	11.6	69.1	19.3
	H22	34	2,991	12.9	64.5	22.6
東北	H20	42	1,960	22.3	53.6	24.2
	H21	48	2,691	18.3	59.1	22.6
	H22	103	2,053	21.5	63.5	15.0
関東	H20	138	1,746	21.2	66.2	12.7
	H21	127	2,837	23.9	60.4	15.7
	H22	217	2,004	26.1	59.2	14.8
北陸	H20	55	1,721	24.8	60.6	14.5
	H21	18	2,057	26.3	56.6	17.1
	H22	44	2,255	20.0	57.6	22.4
東海	H20	49	3,100	20.5	60.6	18.9
	H21	48	3,260	29.7	56.8	13.5
	H22	70	2,286	23.6	59.6	16.8
近畿	H20	56	2,281	49.6	39.6	10.8
	H21	59	2,648	41.1	38.7	20.2
	H22	113	2,143	42.8	39.8	17.4
中国	H20	28	1,965	42.1	42.9	15.0
	H21	26	3,100	35.8	45.2	19.0
	H22	44	2,414	37.4	36.3	26.3
四国	H20	9	1,193	40.1	42.5	17.3
	H21	11	1,977	40.8	41.5	17.7
	H22	19	1,507	50.7	42.3	6.9
九州・沖縄	H20	46	1,907	28.6	47.4	24.0
	H21	53	1,586	34.6	41.4	24.0
	H22	100	1,467	35.1	40.2	24.7

□ 1店当たり仕入量は「北海道」で多く、「九州・沖縄」で少ない

「北海道」は他の地域に比べ1店当たり仕入量が多く、2,991kgとなっている。1店当たり仕入量が少ないのは「九州・沖縄」で、1,467kgにとどまる。

□ 「四国」「近畿」では「牛肉」の仕入比率が多く、「北海道」「東北」では「豚肉」の仕入比率が多い

「牛肉」の仕入比率は、「四国」(50.7%)「近畿」(42.8%)で高い。

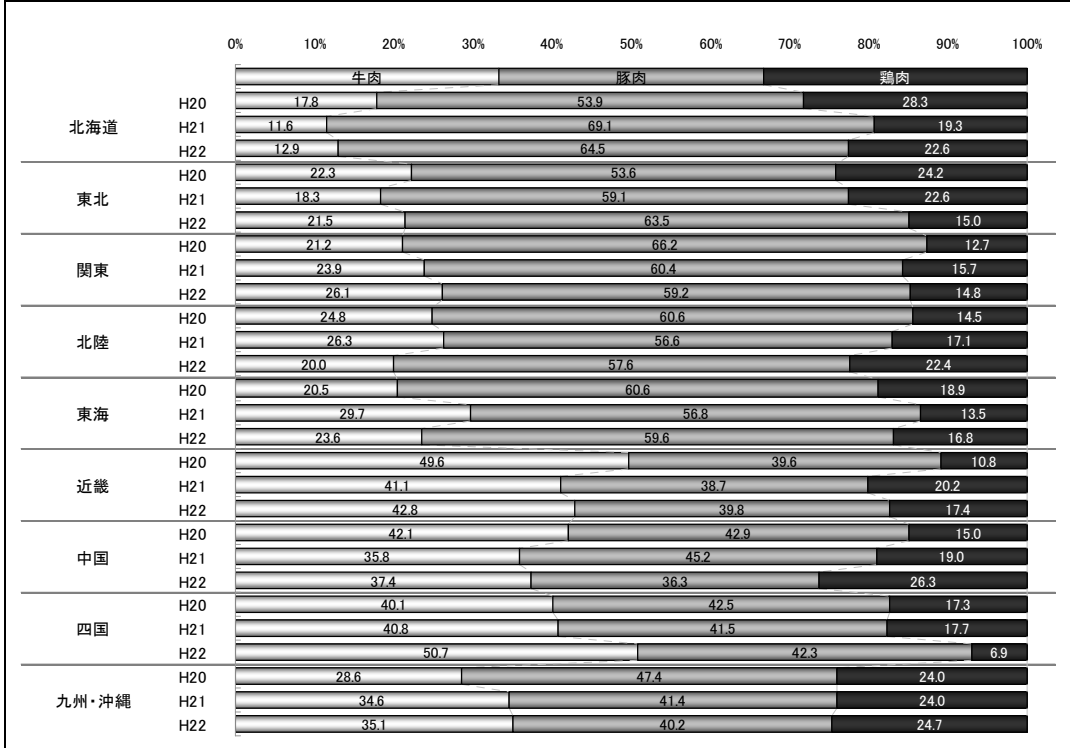
「北海道」「東北」は他の地域に比べ「豚肉」の仕入比率が高く、6割を超える。「東海」(59.6%)「関東」(59.2%)でも仕入比率が高い。

1 食肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

3. 肉種別にみる仕入構成: 地域別

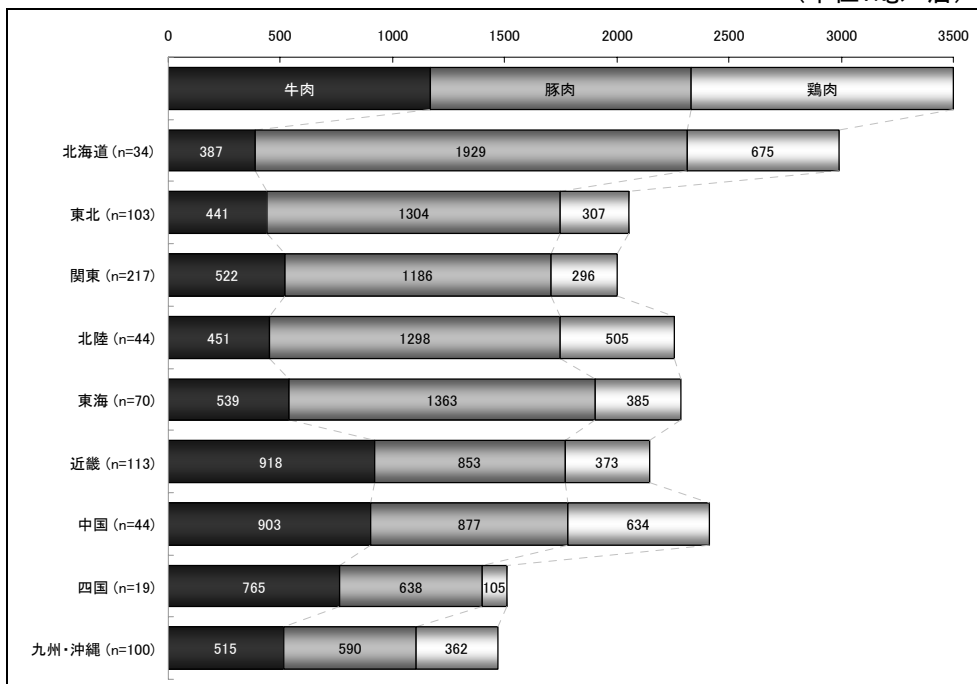
■ 図表Ⅲ-7 肉種別仕入構成比の推移: 地域別

(単位: %)



■ 図表Ⅲ-8 肉種別1店当たり食肉仕入量: 地域別

(単位: kg/店)



2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 牛肉の仕入構成

■ 図表Ⅲ-9 牛肉の品種別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	仕入構成比(%)							
			和牛肉	国産牛肉(乳用種)	国産牛肉(交雑種)	その他国産牛肉	米国産牛肉	豪州産牛肉	その他輸入牛肉	
全店舗	703	625	42.1	13.2	20.7	0.5	4.6	17.0	2.0	
業態別	百貨店	29	1,605	70.4	5.0	18.7	0.5	0.0	5.4	0.0
	総合スーパー	20	1,092	20.5	17.6	7.3	0.6	10.9	29.5	13.5
	食品スーパー	248	815	22.8	17.7	25.6	0.4	6.3	25.4	1.8
	農協・生協ストア	39	424	31.5	46.6	13.2	0.5	0.7	6.9	0.5
	食肉小売店(専門店)	366	414	63.7	5.4	17.3	0.6	3.3	8.5	1.3
	その他	1	550	0.0	0.0	30.9	0.0	5.5	63.6	0.0
地域別	北海道	32	411	11.8	13.8	8.9	0.9	15.6	23.1	26.0
	東北	95	478	40.4	16.6	19.5	0.2	8.5	14.2	0.6
	関東	203	558	39.1	6.8	20.9	0.3	5.8	25.1	1.9
	北陸	41	484	25.1	29.0	18.4	0.4	4.9	18.7	3.5
	東海	67	563	48.8	8.5	21.2	0.2	5.6	15.4	0.3
	近畿	107	970	49.5	12.5	22.7	0.8	1.1	12.6	0.7
	中国	43	924	42.3	24.5	20.5	0.2	2.6	9.0	1.0
	四国	18	807	37.6	27.3	22.7	0.0	1.2	10.2	1.0
	九州・沖縄	97	531	46.0	10.0	19.9	0.9	4.5	17.4	1.3

□ 国産牛肉全体の比率は76.5%、「和牛肉」だけで42.1%を占める

牛肉の1店当たり仕入量は625kgで、そのうち76.5%を国産牛肉（「和牛肉」、
「国産牛肉乳用種」、「国産牛肉交雑種」、「その他国産牛肉」の合計）が占め、
残りの23.6%が輸入牛肉である。

品種別では、「和牛肉」が42.1%を占め、次いで「国産牛肉交雑種」の20.7%、
「豪州産牛肉」の17.0%、「国産牛肉乳用種」の13.2%の順となっている。

業態別では、「百貨店」と「食肉小売店」では「和牛肉」の構成比が高く、「百貨店」では仕入量の7割、「食肉小売店」では6割以上を占める。「総合スーパー」と「食品スーパー」は、全店舗平均に比べて「豪州産牛肉」の構成比が高く、ともに3割弱を占める。「農協・生協ストア」では「国産牛肉乳用種」の構成比が高く、半数近くを占める。

□ 「東海」「近畿」「九州・沖縄」で「和牛肉」の構成比が高く、「北海道」では輸入牛肉の比率が高い

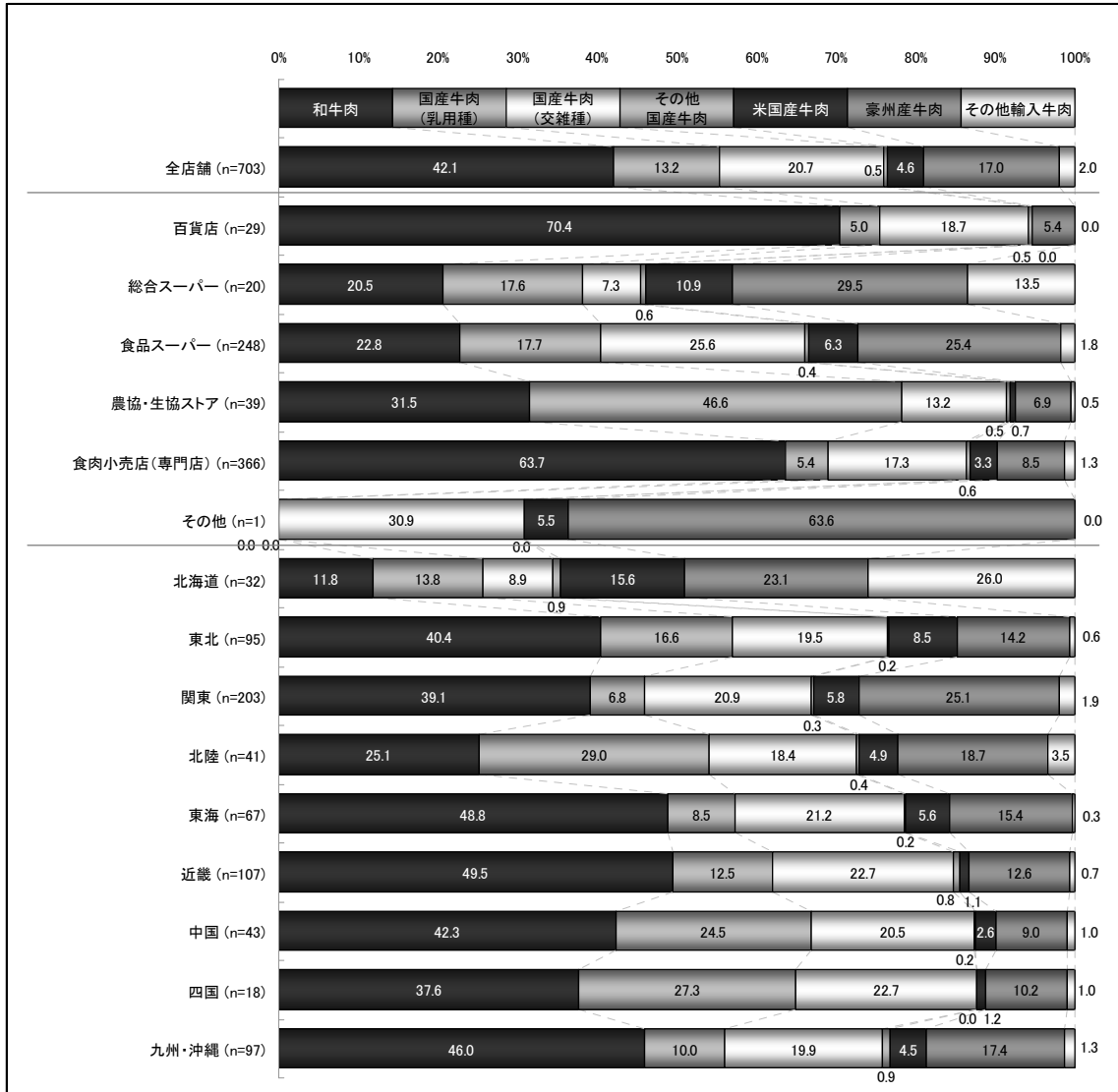
地域別では、「和牛肉」の構成比は「近畿」「東海」「九州・沖縄」の順に高く、いずれも5割近くを占める。「北海道」では、輸入牛肉の構成比が目立って高い。「関東」でも「豪州産牛肉」の構成比が25.1%と高くなっている。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 牛肉の仕入構成

■ 図表Ⅲ-10 牛肉の品種別仕入構成比:業態別・地域別

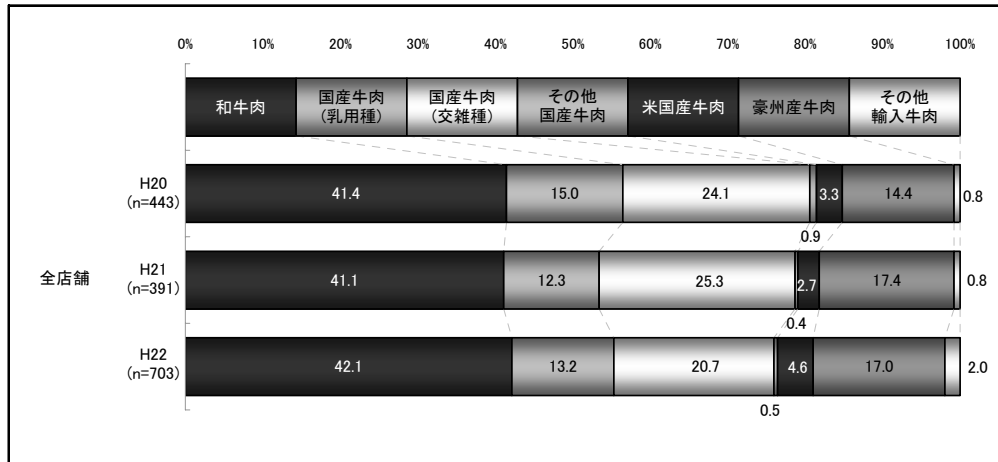
(単位:%)



2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 牛肉の仕入構成

■ 図表Ⅲ-11 牛肉の品種別仕入構成比推移 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-12 牛肉の品種別仕入構成比推移:業態別

	年次	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	仕入構成比(%)						
				和牛肉	国産牛肉(乳用種)	国産牛肉(交雑種)	その他国産牛肉	米国産牛肉	豪州産牛肉	その他輸入牛肉
全店舗	H20	443	586	41.4	15.0	24.1	0.9	3.3	14.4	0.8
	H21	391	782	41.1	12.3	25.3	0.4	2.7	17.4	0.8
	H22	703	625	42.1	13.2	20.7	0.5	4.6	17.0	2.0
百貨店	H20	15	1,435	58.2	3.8	28.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	H21	16	1,188	64.0	5.3	23.0	0.8	0.0	6.9	0.0
	H22	29	1,605	70.4	5.0	18.7	0.5	0.0	5.4	0.0
総合スーパー	H20	11	597	30.1	21.2	25.2	0.0	2.7	20.8	0.0
	H21	15	1,387	38.9	14.2	18.8	0.0	1.2	24.7	2.2
	H22	20	1,092	20.5	17.6	7.3	0.6	10.9	29.5	13.5
食品スーパー	H20	151	940	31.0	21.3	23.4	1.1	4.0	17.8	1.4
	H21	151	1,006	24.6	16.3	28.5	0.4	4.2	25.1	0.9
	H22	248	815	22.8	17.7	25.6	0.4	6.3	25.4	1.8
農協・生協ストア	H20	14	325	19.2	37.2	35.4	4.7	0.0	3.5	0.0
	H21	20	466	25.1	54.2	10.2	0.0	0.0	10.5	0.0
	H22	39	424	31.5	46.6	13.2	0.5	0.7	6.9	0.5
食肉小売店(専門店)	H20	243	340	57.7	6.0	24.1	0.6	2.4	9.0	0.2
	H21	183	543	63.0	3.5	24.0	0.3	1.2	7.4	0.7
	H22	366	414	63.7	5.4	17.3	0.6	3.3	8.5	1.3
その他	H20	8	279	18.4	0.9	4.1	0.9	33.6	42.1	0.0
	H21	6	877	56.8	5.7	21.6	0.0	10.1	5.9	0.0
	H22	1	550	0.0	0.0	30.9	0.0	5.5	63.6	0.0

□ 国内産牛肉の仕入構成比は2.6ポイント低下

国内産牛肉合計の仕入構成比は76.5%で、前回調査の79.1%から2.6ポイント低下している。「国産牛肉交雑種」の仕入構成比が前回より4.6ポイント低下、輸入牛肉では「米国産牛肉」が仕入構成比は低いが、1.9ポイント上昇している。

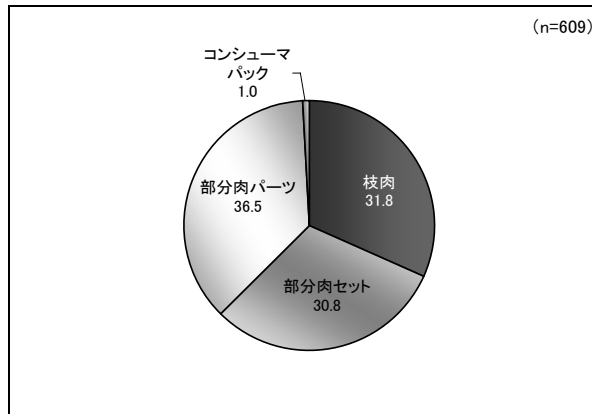
業態別にみると、「和牛肉」の仕入構成比は「百貨店」で増加傾向にあり、今回は7割に達している。これに対して「総合スーパー」では18.4ポイント低下の20.5%となっている。「国産牛肉乳用種」の仕入構成比は「農協・生協ストア」で46.6%を占めるが、前回よりも7.6ポイント低下している。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

1) 和牛肉

■ 図表Ⅲ-13 「和牛肉」形態別仕入構成比 (単位: %)



■ 図表Ⅲ-14 「和牛肉」形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	609	304	31.8	30.8	36.5	1.0	
業態別	百貨店	29	1,131	19.1	39.6	41.3	0.0
	総合スーパー	19	236	8.7	23.7	63.3	4.3
	食品スーパー	200	230	16.5	37.8	42.6	3.2
	農協・生協ストア	29	180	6.3	41.7	49.7	2.4
	食肉小売店(専門店)	331	291	45.8	24.3	29.9	0.0
	その他	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	北海道	23	68	2.7	39.4	57.9	0.0
	東北	76	242	45.7	28.3	25.6	0.3
	関東	175	253	16.5	38.6	44.2	0.7
	北陸	31	161	16.8	31.9	50.9	0.4
	東海	55	335	66.5	18.9	14.1	0.5
	近畿	104	494	35.5	27.2	35.1	2.3
	中国	39	431	28.9	31.3	39.6	0.2
	四国	18	304	56.1	12.3	31.6	0.0
	九州・沖縄	88	269	15.9	38.5	45.2	0.4

□ 「和牛肉」の1店当たり仕入量は304kg、「部分肉パーツ」36.5%、「枝肉」31.8%、「部分肉セット」30.8%

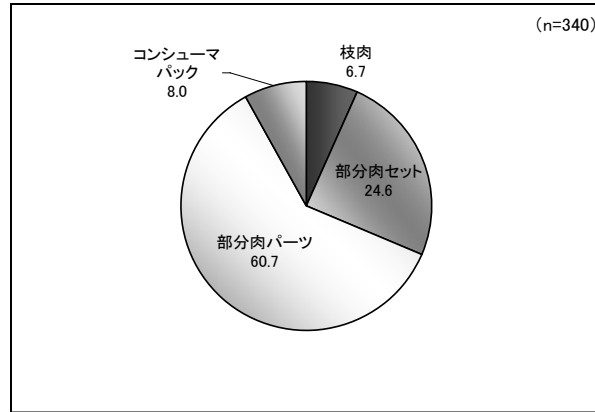
業態別では「百貨店」が1,131kgと多く、他の業態と比べると突出している。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉パーツ」(36.5%)が最も高く、「枝肉」(31.8%)、「部分肉セット」(30.8%)と続く。地域別では、「近畿」「中国」「東海」の順で1店当たり仕入量が多くなっている。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

2) 国産牛肉(乳用種)

■ 図表Ⅲ-15 「国産牛肉(乳用種)」形態別仕入構成比 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-16 「国産牛肉(乳用種)」形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	340	170	6.7	24.6	60.7	8.0	
業態別	百貨店	12	194	5.1	30.7	64.2	0.0
	総合スーパー	14	274	1.1	1.8	94.2	2.9
	食品スーパー	165	217	4.8	29.3	54.0	11.8
	農協・生協ストア	35	220	6.7	29.0	61.5	2.8
	食肉小売店(専門店)	113	72	17.8	8.8	72.8	0.6
	その他	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	北海道	20	91	3.1	21.5	75.4	0.0
	東北	53	142	3.6	25.6	68.3	2.6
	関東	76	101	12.9	25.9	51.1	10.0
	北陸	27	214	5.0	21.2	72.4	1.5
	東海	28	115	7.4	9.6	75.4	7.6
	近畿	46	281	8.4	17.5	52.2	21.8
	中国	30	324	5.5	22.8	67.6	4.1
	四国	12	331	3.0	47.2	49.8	0.0
	九州・沖縄	48	107	5.4	39.8	53.0	1.8

□ 「国産牛肉(乳用種)」の1店当たり仕入量は170kg、「部分肉パーツ」60.7%、「部分肉セット」24.6%

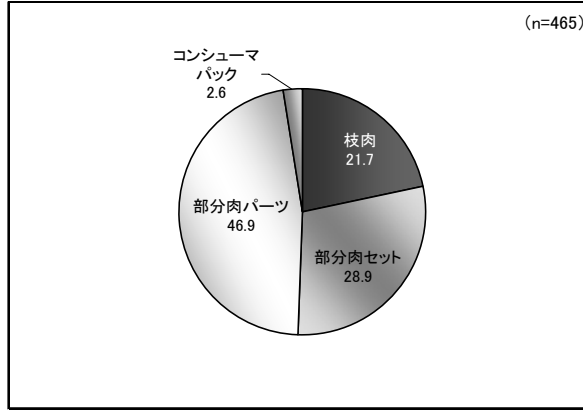
「国産牛肉(乳用種)」の1店当たり仕入量は170kgで、業態別に見ると、「総合スーパー」が274kgと最も多い。次いで「農協・生協ストア」「食品スーパー」の順。形態別仕入構成比をみると、「部分肉パーツ」が6割を占め、次いで「部分肉セット」(24.6%)。地域別にみると、「四国」「中国」の1店当たり仕入量が多く、300kgを超えている。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

3) 国産牛肉(交雑種)

■ 図表Ⅲ-17 「国産牛肉(交雑種)」形態別仕入構成比 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-18 「国産牛肉(交雑種)」形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	465	195	21.7	28.9	46.9	2.6	
業態別	百貨店	23	378	32.7	28.2	39.1	0.0
	総合スーパー	13	123	0.9	30.0	46.1	23.0
	食品スーパー	182	285	22.6	36.3	37.6	3.5
	農協・生協ストア	23	95	14.9	22.4	58.2	4.4
	食肉小売店(専門店)	223	118	18.3	15.1	66.5	0.1
	その他	1	170	0.0	0.0	100.0	0.0
地域別	北海道	23	51	0.0	28.9	64.5	6.7
	東北	56	158	1.8	35.6	61.4	1.2
	関東	139	171	16.1	38.2	41.3	4.4
	北陸	30	122	20.7	14.8	58.7	5.8
	東海	48	167	26.3	33.7	36.5	3.5
	近畿	60	393	39.5	15.0	43.0	2.4
	中国	36	226	19.4	28.2	52.0	0.3
	四国	14	236	12.5	59.5	28.1	0.0
	九州・沖縄	59	174	14.7	25.5	59.8	0.0

□ 「国産牛肉(交雑種)」の1店当たり仕入量は195kg、「部分肉パーツ」が46.9%

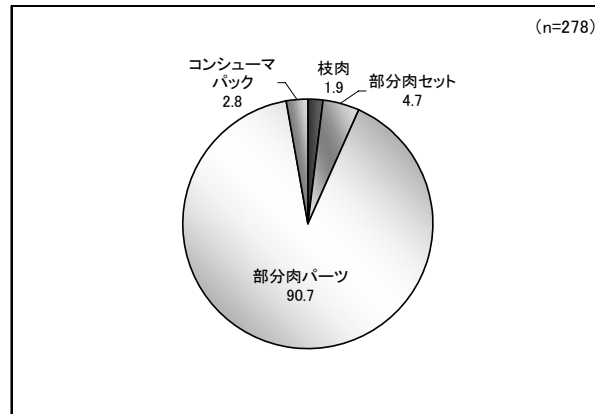
「国産牛肉(交雑種)」の1店当たり仕入量は195kgで、業態別にみると、「百貨店」が378kgと最も多く、次いで多いのが「食品スーパー」の285kgである。形態別仕入構成比をみると、「部分肉パーツ」が46.9%を占める。地域別では「近畿」の1店当たり仕入量が393kgと最も多い。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

4) 米国産牛肉

■ 図表Ⅲ-19 「米国産牛肉」形態別仕入構成比 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-20 「米国産牛肉」形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	278	73	1.9	4.7	90.7	2.8	
業態別	百貨店	8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	総合スーパー	14	171	0.6	0.0	98.2	1.2
	食品スーパー	144	88	2.6	6.5	86.7	4.2
	農協・生協ストア	11	10	8.1	0.0	91.9	0.0
	食肉小売店(専門店)	100	50	0.4	2.6	97.0	0.0
	その他	1	30	0.0	0.0	100.0	0.0
地域別	北海道	21	98	0.0	2.9	97.1	0.0
	東北	54	72	7.0	10.3	81.2	1.5
	関東	66	99	0.4	4.3	95.3	0.0
	北陸	14	70	0.0	0.0	100.0	0.0
	東海	24	88	0.0	2.4	95.3	2.4
	近畿	36	32	1.8	0.0	70.9	27.3
	中国	22	46	6.2	9.8	72.2	11.8
	四国	6	30	0.0	0.0	100.0	0.0
九州・沖縄	35	67	0.0	2.6	97.0	0.4	

□ 「米国産牛肉」の1店当たり仕入量は73kg、「部分肉パーツ」が9割を占める

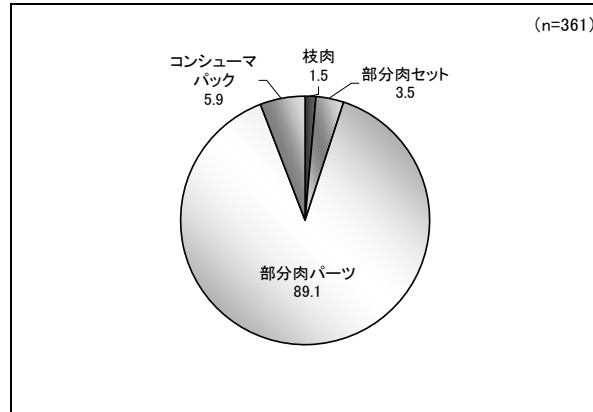
主に「部分肉パーツ」として仕入れている「米国産牛肉」の1店当たり仕入量は73kgで、「部分肉パーツ」が90.7%と圧倒的である。業態別に見ると、「総合スーパー」で171kgと多く、次いで「食品スーパー」の88kgとなっている。形態別仕入構成比を見ると、各業態でもほとんどが「部分肉パーツ」として仕入れている。「百貨店」では仕入実績がない。地域別では、「関東」「北海道」で1店当たり仕入量が多くなっている。

2 牛肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる牛肉の仕入形態

5) 豪州産牛肉

■ 図表Ⅲ-21 「豪州産牛肉」形態別仕入構成比 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-22 「豪州産牛肉」形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	361	207	1.5	3.5	89.1	5.9	
業態別	百貨店	12	208	0.0	4.8	95.2	0.0
	総合スーパー	15	429	0.5	0.0	89.2	10.3
	食品スーパー	187	275	2.0	3.7	87.1	7.2
	農協・生協ストア	16	71	0.8	0.0	96.4	2.8
	食肉小売店(専門店)	130	99	0.1	4.8	94.9	0.2
	その他	1	350	0.0	0.0	100.0	0.0
地域別	北海道	24	126	0.0	1.3	94.1	4.6
	東北	58	111	4.7	5.0	87.3	3.1
	関東	85	335	1.9	4.4	92.2	1.5
	北陸	22	169	1.9	2.7	89.5	5.9
	東海	37	157	2.4	0.5	89.2	7.9
	近畿	56	234	0.1	3.2	78.3	18.4
	中国	25	142	0.0	8.4	76.2	15.4
	四国	7	211	0.0	0.0	100.0	0.0
	九州・沖縄	47	190	0.2	1.7	97.8	0.3

□ 「豪州産牛肉」の1店当たり仕入量は207kg、「部分肉パーツ」が9割を占める

「豪州産牛肉」の1店当たり仕入量は207kgで、「部分肉パーツ」での仕入れが89.1%と大部分を占める。「米国産牛肉」とは異なり、「百貨店」でも仕入実績がみられる。業態別では「総合スーパー」で1店当たり仕入量が429kgと多い。いずれの業態でも「部分肉パーツ」が大半を占める。地域別では「関東」で1店当たり仕入量が多くなっている。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 豚肉の仕入構成

■ 図表Ⅲ-23 豚肉の品種別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

		回答 店舗数	1店当たり 仕入量 (kg)	仕入構成比(%)				
				黒豚肉	SPF豚肉	銘柄豚肉	その他 国産豚肉	輸入豚肉
全店舗		694	1,176	3.5	12.6	24.1	43.8	15.9
業 態 別	百貨店	28	1,940	21.8	4.8	42.5	30.1	0.8
	総合スーパー	19	2,198	1.7	16.1	11.3	36.8	34.1
	食品スーパー	243	1,947	1.9	12.8	22.5	43.0	19.8
	農協・生協ストア	38	1,490	1.4	15.3	48.4	31.5	3.5
	食肉小売店(専門店)	365	515	3.4	13.0	18.8	55.3	9.6
	その他	1	2,300	0.0	0.0	0.0	34.8	65.2
地 域 別	北海道	32	2,050	0.9	6.3	10.3	59.0	23.5
	東北	99	1,357	3.1	25.9	24.5	35.7	10.8
	関東	203	1,268	3.8	13.1	22.3	40.9	19.8
	北陸	39	1,465	1.7	3.5	32.1	48.9	13.8
	東海	68	1,403	1.8	1.2	29.6	51.7	15.6
	近畿	103	935	3.6	18.0	22.6	41.4	14.3
	中国	42	919	1.9	4.6	21.0	54.8	17.6
	四国	18	673	2.6	6.6	38.2	42.6	10.1
九州・沖縄	90	656	11.6	12.4	31.6	37.4	7.1	

□ 豚肉の仕入構成比は「黒豚肉」「SPF豚肉」「銘柄豚肉」が合わせて40.2%、「その他国産豚肉」が43.8%、「輸入豚肉」が15.9%

豚肉の1店当たり仕入量は1,176kgで、その約4割が「その他国産豚肉」である。次いで仕入量が多いのは「銘柄豚肉」の24.1%。これに「黒豚肉」と「SPF豚肉」を含めると40.2%、「その他国産豚肉」を合わせた国産豚肉全体では84.0%にのぼる。

業態別では、「総合スーパー」「食品スーパー」「百貨店」の1店当たり仕入量が多い。「総合スーパー」の1店当たり仕入量は2,198kgで、その36.8%が「その他国産豚肉」である。「食品スーパー」は「その他国産豚肉」(43.0%)、「百貨店」は「銘柄豚肉」(42.5%)の構成比が高い。「総合スーパー」では、他の業態に比べて「輸入豚肉」の仕入構成比が34.1%と高い。

□ 全体的に東日本での仕入量が多い、最も多いのは「北海道」の2,050kg

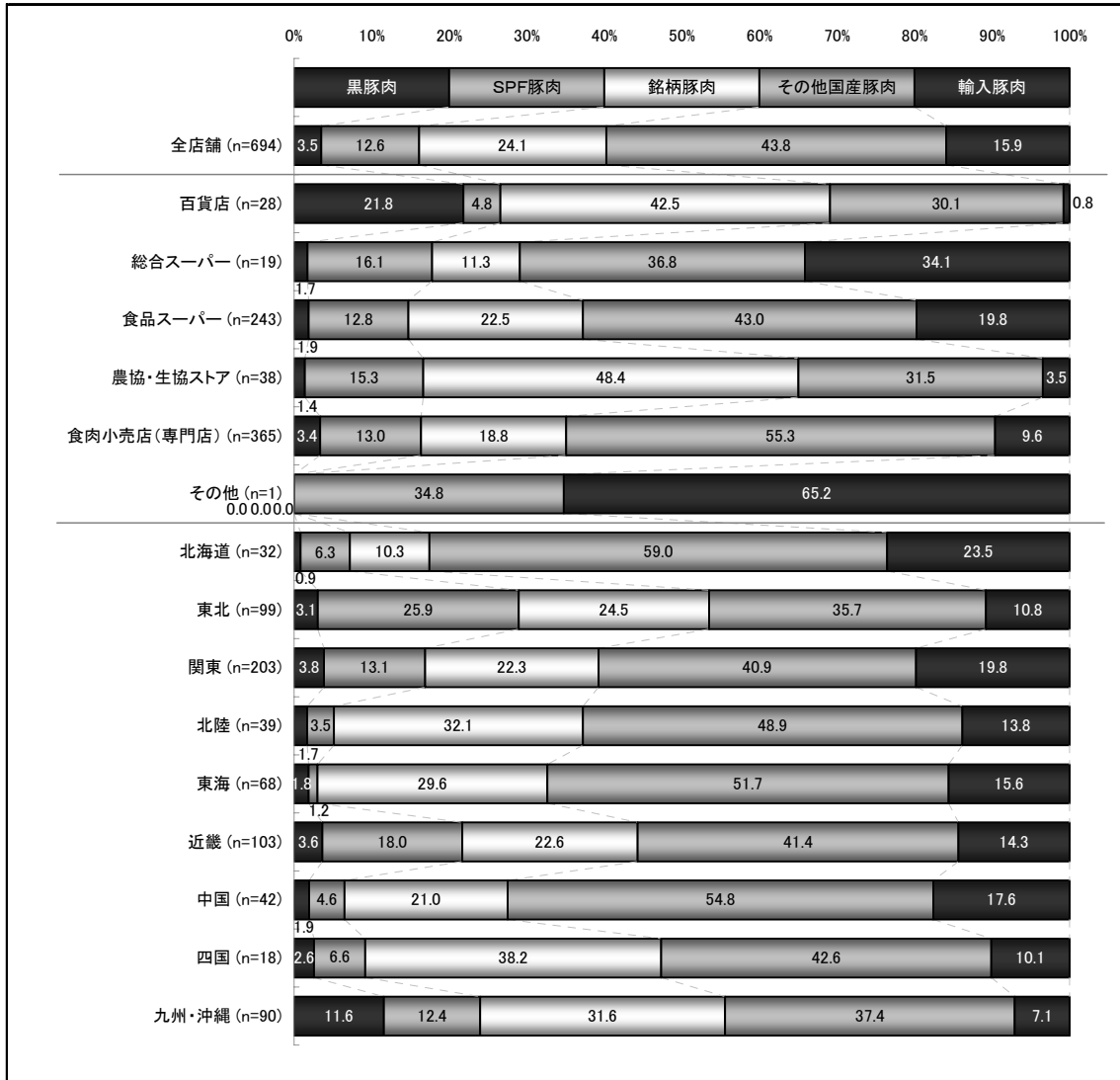
地域別に見ると、東日本における1店当たり仕入量が多く、「北海道」では2,000kg以上となっている。以下「北陸」「東海」「東北」「関東」の順。一方、「九州・沖縄」「四国」では600kg台と少ない。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 豚肉の仕入構成

■ 図表Ⅲ-24 豚肉の品種別仕入構成比:業態別・地域別

(単位:%)

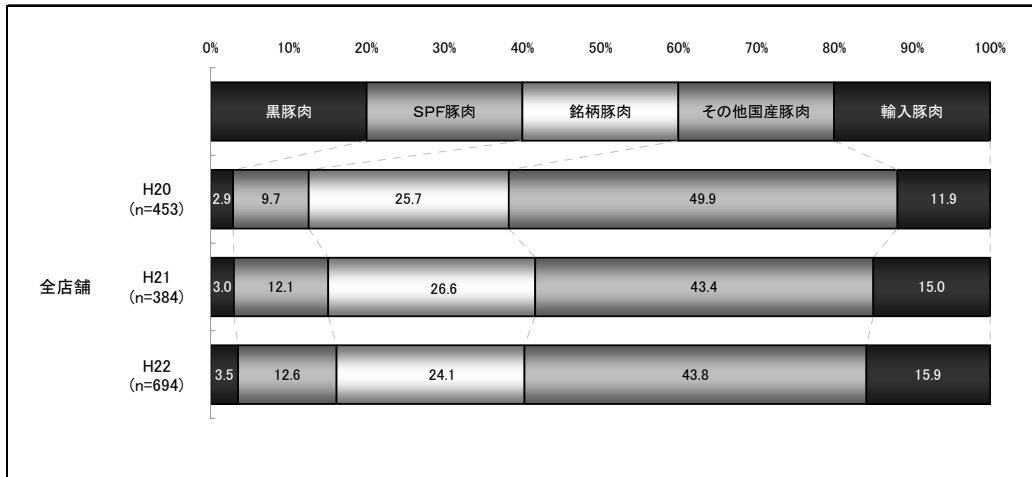


3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 豚肉の仕入構成

■ 図表Ⅲ-25 豚肉の品種別仕入構成比推移

(単位: %)



■ 図表Ⅲ-26 豚肉の品種別仕入構成比推移:業態別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	仕入構成比(%)					
			黒豚肉	SPF豚肉	銘柄豚肉	その他国産豚肉	輸入豚肉	
全店舗	H20	453	1,141	2.9	9.7	25.7	49.9	11.9
	H21	384	1,550	3.0	12.1	26.6	43.4	15.0
	H22	694	1,176	3.5	12.6	24.1	43.8	15.9
百貨店	H20	14	1,742	13.4	0.8	40.1	40.5	5.2
	H21	16	957	22.9	3.6	19.8	50.2	3.4
	H22	28	1,940	21.8	4.8	42.5	30.1	0.8
総合スーパー	H20	10	1,525	7.1	2.3	64.1	16.2	10.4
	H21	15	2,380	1.8	12.6	50.1	19.1	16.4
	H22	19	2,198	1.7	16.1	11.3	36.8	34.1
食品スーパー	H20	148	2,199	2.5	9.4	25.7	48.0	14.4
	H21	150	2,636	2.2	11.6	26.7	41.8	17.7
	H22	243	1,947	1.9	12.8	22.5	43.0	19.8
農協・生協ストア	H20	16	858	1.1	11.0	53.3	31.2	3.5
	H21	19	986	1.7	5.0	40.3	51.0	2.1
	H22	38	1,490	1.4	15.3	48.4	31.5	3.5
食肉小売店(専門店)	H20	257	526	1.6	12.6	16.2	62.2	7.5
	H21	176	653	3.7	16.9	19.2	53.0	7.2
	H22	365	515	3.4	13.0	18.8	55.3	9.6
その他	H20	8	334	0.0	10.5	6.2	44.1	39.3
	H21	8	1,915	0.7	5.7	13.9	53.2	26.5
	H22	1	2,300	0.0	0.0	0.0	34.8	65.2

□ 豚肉全体の品種別仕入構成比は前回とほぼ同様

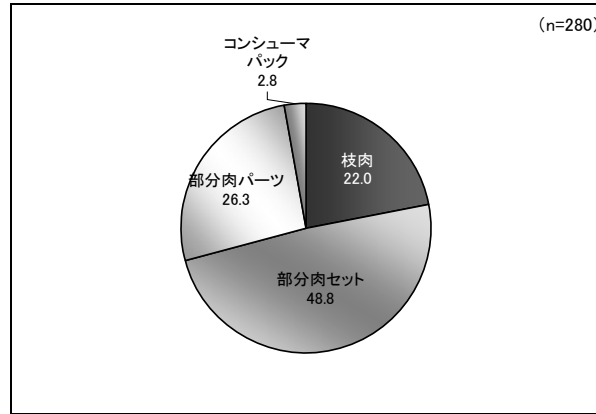
品種別の仕入構成比の全体は前回とほとんど差はみられないが、「輸入豚肉」が0.9ポイント、「黒豚肉」と「SPF豚肉」が0.5ポイントの微増となり、「銘柄豚肉」が2.5ポイント少なくなっている。業態別にみると、「百貨店」では「銘柄豚肉」が22.7ポイント増加し、「その他国産豚肉」が20.1ポイント減少している。逆に「総合スーパー」では「その他国産豚肉」と「輸入豚肉」が17.7ポイント増加し、「銘柄豚肉」が38.8ポイント減少している。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

1) 黒豚肉

■ 図表Ⅲ-27 「黒豚肉」形態別仕入構成比 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-28 「黒豚肉」形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	280	102	22.0	48.8	26.3	2.8	
業態別	百貨店	21	565	27.5	51.9	20.6	0.0
	総合スーパー	11	65	2.4	66.9	20.9	9.8
	食品スーパー	137	65	13.3	52.4	26.0	8.3
	農協・生協ストア	16	49	0.0	59.1	40.9	0.0
	食肉小売店(専門店)	95	66	28.8	34.8	36.4	0.0
	その他	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	北海道	18	31	0.0	35.8	51.7	12.5
	東北	40	103	1.4	57.2	41.4	0.0
	関東	76	129	33.4	48.5	15.7	2.5
	北陸	15	63	5.9	42.6	51.5	0.0
	東海	20	88	53.3	37.1	8.5	1.1
	近畿	46	76	21.1	21.4	43.8	13.7
	中国	19	39	8.1	44.7	47.2	0.0
	四国	6	52	0.0	38.7	61.3	0.0
	九州・沖縄	40	171	16.8	64.3	18.9	0.0

□ 「黒豚肉」の1店当たり仕入量は102kg、「部分肉セット」が48.8%

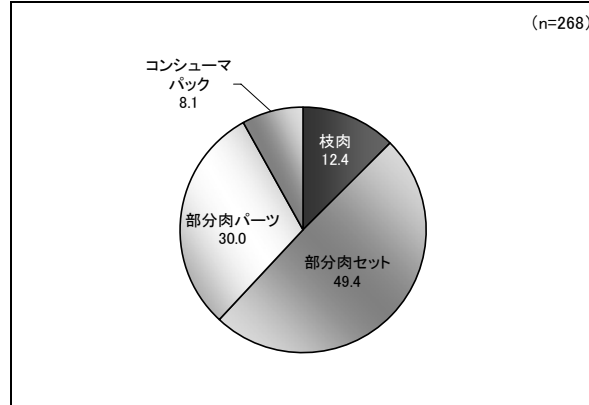
「黒豚肉」の1店当たり仕入量は102kgで、業態別では「百貨店」の1店当たり仕入量が565kgと突出している。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉セット」が48.8%を占め、以下「部分肉パーツ」26.3%、「枝肉」22.0%と続く。業態別に見ると「総合スーパー」では「部分肉セット」の仕入構成比が66.9%と高い。地域別では「九州・沖縄」で1店当たり仕入れ量が多い。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

2) SPF豚肉

■ 図表Ⅲ-29 「SPF豚肉」形態別仕入構成比 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-30 「SPF豚肉」形態別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	268	384	12.4	49.4	30.0	8.1	
業態別	百貨店	11	235	12.2	9.7	78.1	0.0
	総合スーパー	10	671	0.2	29.8	59.6	10.4
	食品スーパー	119	510	11.2	59.2	18.5	11.1
	農協・生協ストア	13	665	14.2	46.4	28.1	11.2
	食肉小売店(専門店)	115	212	18.4	35.6	46.0	0.0
	その他	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	北海道	14	297	0.0	51.8	48.2	0.0
	東北	45	773	6.9	71.2	20.7	1.1
	関東	69	488	16.8	52.7	21.4	9.1
	北陸	13	152	62.2	32.8	2.0	3.0
	東海	16	69	0.0	36.4	36.4	27.3
	近畿	48	362	15.5	20.6	39.2	24.8
	中国	18	99	0.0	28.7	71.3	0.0
	四国	5	160	0.0	25.0	75.0	0.0
	九州・沖縄	40	183	11.4	11.8	73.3	3.4

□ 「SPF豚肉」の1店当たり仕入量は384kg、「部分肉セット」が49.4%、「部分肉パーツ」が30.0%

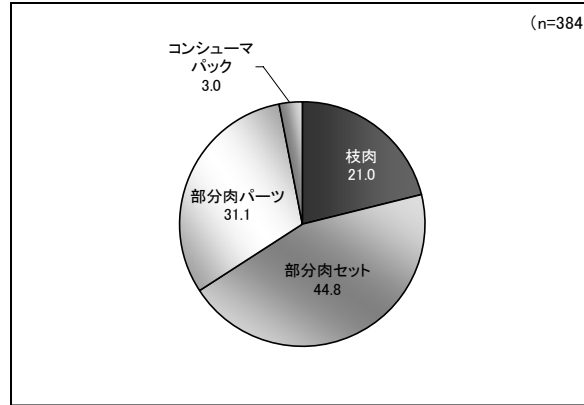
「SPF豚肉」の1店当たり仕入量は384kgで、業態別に見ると、「総合スーパー」が671kg、「農協・生協ストア」が665kgと多い。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉セット」(49.4%)と「部分肉パーツ」(30.0%)が高い。「百貨店」では78.1%が「部分肉パーツ」である。地域別に見ると、「東北」の1店当たり仕入量が突出して多くなっている。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

3) 銘柄豚肉

■ 図表Ⅲ-31 「銘柄豚肉」形態別仕入構成比 (単位: %)



■ 図表Ⅲ-32 「銘柄豚肉」形態別仕入構成比と仕入量: 業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	384	513	21.0	44.8	31.1	3.0	
業態別	百貨店	26	889	33.0	47.5	19.4	0.0
	総合スーパー	10	473	0.1	26.4	47.6	25.8
	食品スーパー	168	634	20.4	51.1	27.1	1.3
	農協・生協ストア	30	913	1.3	41.9	45.1	11.7
	食肉小売店(専門店)	150	235	33.2	28.9	37.8	0.1
	その他	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別	北海道	23	293	5.2	64.0	30.8	0.0
	東北	58	568	8.1	39.4	47.4	5.0
	関東	103	558	29.8	52.7	17.5	0.0
	北陸	22	834	2.4	53.6	37.0	7.0
	東海	38	744	48.5	45.5	5.2	0.9
	近畿	54	404	23.0	23.1	44.1	9.8
	中国	23	353	0.0	35.5	58.3	6.2
	四国	13	356	0.0	52.8	47.2	0.0
	九州・沖縄	50	373	11.4	41.1	47.1	0.4

□ 「銘柄豚肉」の1店当たり仕入量は513kg、「部分肉セット」が44.8%、「部分肉パーツ」が31.1%

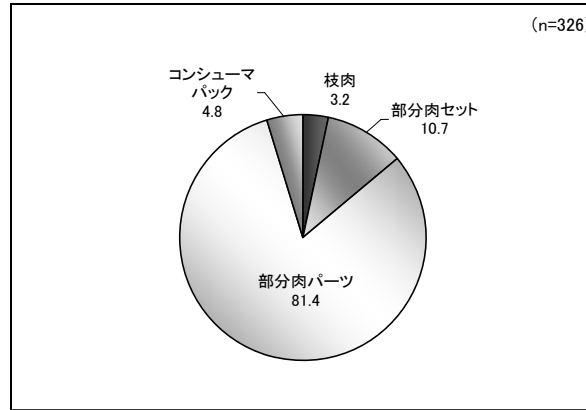
「銘柄豚肉」の1店当たり仕入量は513kgで、業態別に見ると、「農協・生協ストア」で913kg、「百貨店」で889kgと多い。形態別仕入構成比を見ると、「部分肉セット」が44.8%を占め、「部分肉パーツ」が31.1%、「枝肉」が21.0%となっている。地域別に見ると、「北陸」「東海」の1店当たり仕入量が多い。

3 豚肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

2. 商品別にみる豚肉の仕入形態

4) 輸入豚肉

■ 図表Ⅲ-33 「輸入豚肉」形態別仕入構成比 (単位: %)



■ 図表Ⅲ-34 「輸入豚肉」形態別仕入構成比と仕入量: 業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量 (kg)	形態別仕入構成比(%)				
			枝肉	部分肉セット	部分肉パーツ	コンシューマパック	
全店舗	326	398	3.2	10.7	81.4	4.8	
業態別	百貨店	10	43	0.0	0.0	100.0	0.0
	総合スーパー	15	950	0.1	0.0	86.7	13.2
	食品スーパー	173	541	4.1	13.1	78.3	4.5
	農協・生協ストア	16	122	14.3	0.0	79.5	6.2
	食肉小売店(専門店)	111	163	0.0	8.6	91.4	0.0
	その他	1	1,500	0.0	0.0	100.0	0.0
地域別	北海道	26	594	0.0	5.2	85.0	9.9
	東北	53	273	5.7	12.4	77.5	4.4
	関東	82	622	4.9	16.0	78.5	0.6
	北陸	20	395	0.9	0.9	94.4	3.8
	東海	37	402	2.8	0.0	95.5	1.7
	近畿	43	321	0.0	1.3	81.1	17.6
	中国	25	272	5.2	37.2	47.3	10.3
	四国	7	175	0.0	0.0	100.0	0.0
	九州・沖縄	33	127	0.0	7.2	92.1	0.7

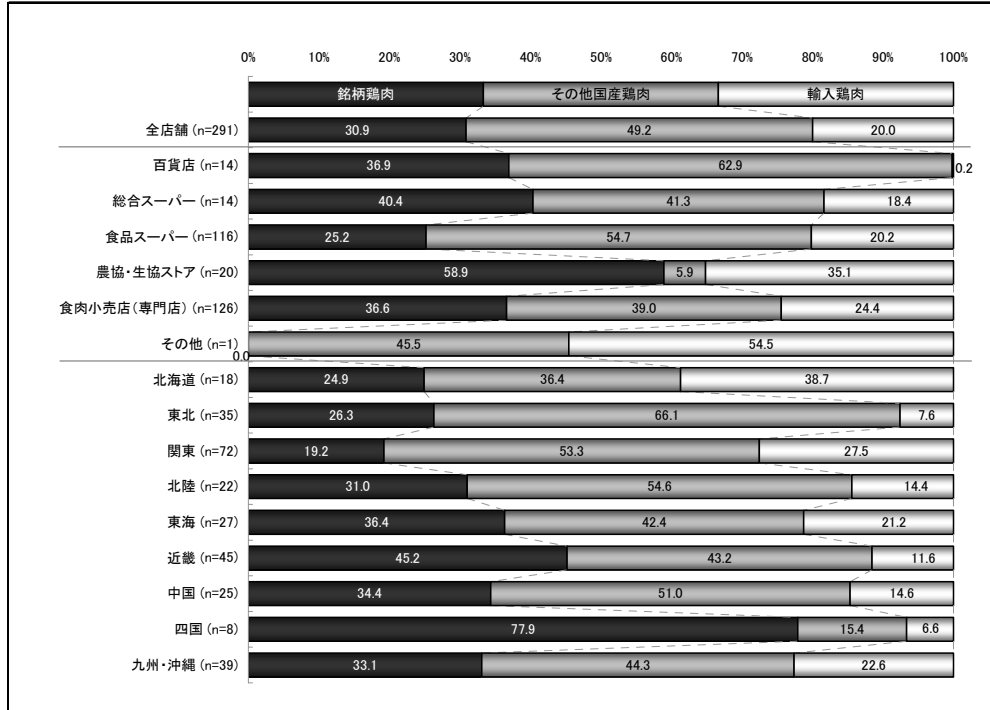
□ 「輸入豚肉」の1店当たり仕入量は398kg、「部分肉パーツ」が8割

「輸入豚肉」の1店当たり仕入量は398kgで、業態別に見ると、「総合スーパー」が950kgと極めて多い。形態別仕入構成比は、「部分肉パーツ」が81.4%を占める。地域別に見ると、1店当たり仕入量は「関東」622kg、「北海道」594kg、「東海」で402kgの順に多くなっている。

4 鶏肉の仕入構成と仕入量(平成22年10月分)

1. 鶏肉の仕入構成

■ 図表Ⅲ-35 鶏肉の品種別仕入構成比:業態別・地域別 (単位:%)



■ 図表Ⅲ-36 鶏肉の品種別仕入構成比と仕入量:業態別・地域別

	回答店舗数	1店当たり仕入量(kg)	仕入構成比(%)			
			銘柄鶏肉	その他国産鶏肉	輸入鶏肉	
全店舗	291	949	30.9	49.2	20.0	
業態別	百貨店	14	1,638	36.9	62.9	0.2
	総合スーパー	14	1,707	40.4	41.3	18.4
	食品スーパー	116	1,518	25.2	54.7	20.2
	農協・生協ストア	20	844	58.9	5.9	35.1
	食肉小売店(専門店)	126	278	36.6	39.0	24.4
	その他	1	1,320	0.0	45.5	54.5
地域別	北海道	18	1,275	24.9	36.4	38.7
	東北	35	904	26.3	66.1	7.6
	関東	72	891	19.2	53.3	27.5
	北陸	22	1,010	31.0	54.6	14.4
	東海	27	997	36.4	42.4	21.2
	近畿	45	936	45.2	43.2	11.6
	中国	25	1,116	34.4	51.0	14.6
	四国	8	249	77.9	15.4	6.6
	九州・沖縄	39	928	33.1	44.3	22.6

□ 鶏肉の1店当たり仕入量は949kg、国産鶏肉が80.1%、「輸入鶏肉」が20.0%

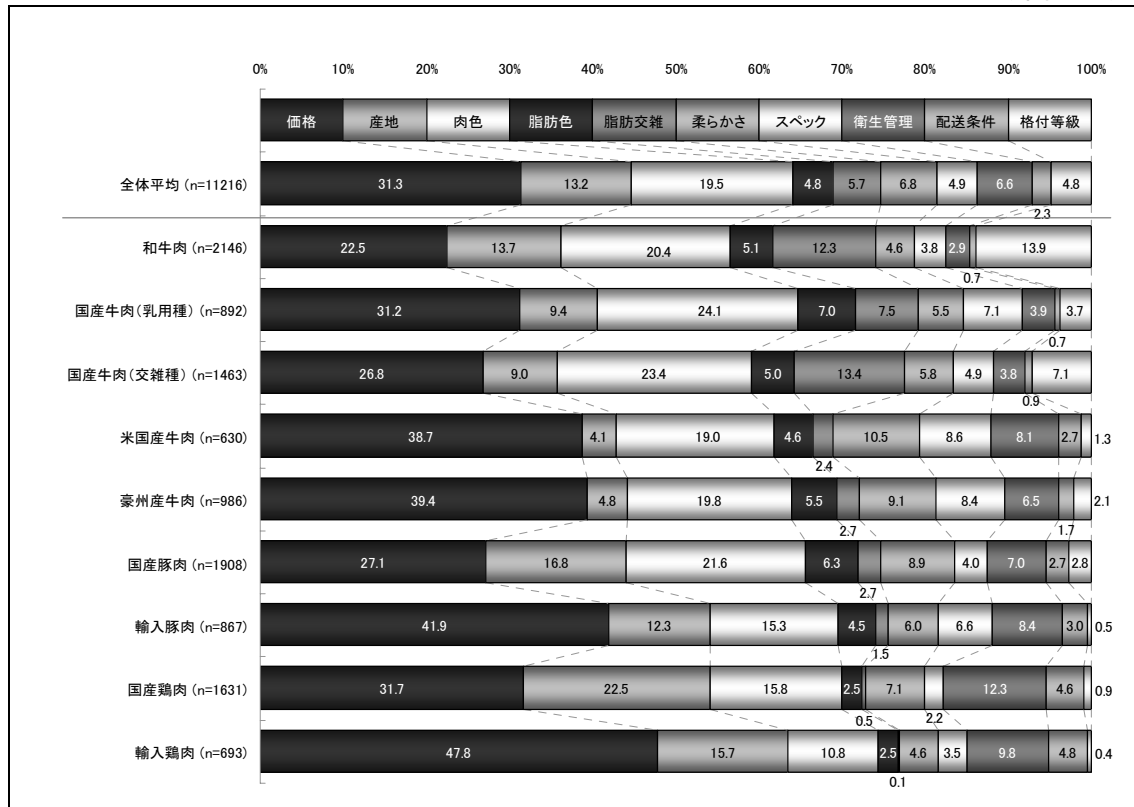
鶏肉の1店当たり仕入量は949kgで、業態別では、「総合スーパー」1,707kg、「百貨店」1,638kg、「食品スーパー」1,518kgの順に多く、「食肉小売店」が278kgと少ない。仕入構成比を見ると、「その他国産鶏肉」が49.2%を占める。地域別に見ると、「北海道」「中国」「北陸」の順に多くいずれも1,000kgを越える。

5 食肉仕入時の重視項目

1. 食肉仕入時の重視項目：品種別

■ 図表Ⅲ-37 食肉仕入時の重視項目：品種別

(単位：%)



□ 全体的な傾向としては「価格」「肉色」「産地」の順で重視されている

食肉仕入時に重視する項目としては、「価格」(31.3%)が最も多く挙げられた。次いで「肉色」(19.5%)「産地」(13.2%)と続く。

「和牛肉」では、「価格」(22.5%)「肉色」(20.4%)が多く挙げられた。また「産地」(13.7%)と同水準で「格付等級」(13.9%)が挙げられているのが特徴的である。

輸入肉の場合は「価格」を重視する傾向がより強く、「米国産牛肉」では38.7%、「豪州産牛肉」では39.4%、「輸入豚肉」では41.9%、「輸入鶏肉」では47.8%が「価格」を選択している。

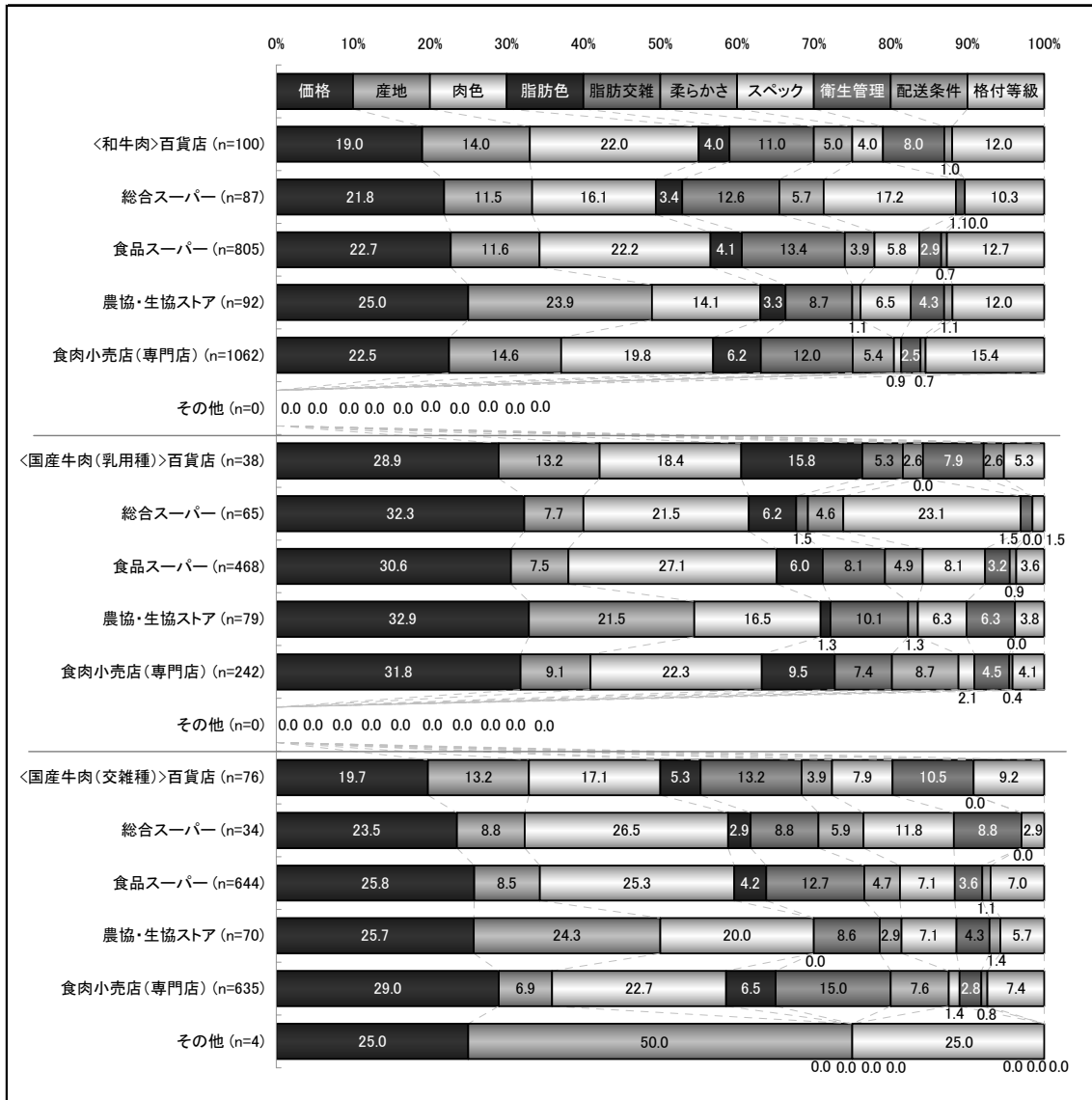
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

1) 国産牛肉

■ 図表Ⅲ-38 「国産牛肉」食肉仕入時の重視項目：品種別・業態別

(単位：%)



□ 「国産牛肉」では「価格」「肉色」を重視する傾向

「国産牛肉」では「価格」「肉色」の回答割合が高い。業態別にみると「農協・生協ストア」では品種に関わらず、他の業態よりも「産地」を重視する傾向が見られる。また、「食品スーパー」では「肉色」、「総合スーパー」では「スペック」が他の業態に比べて全般にスコアが高い。

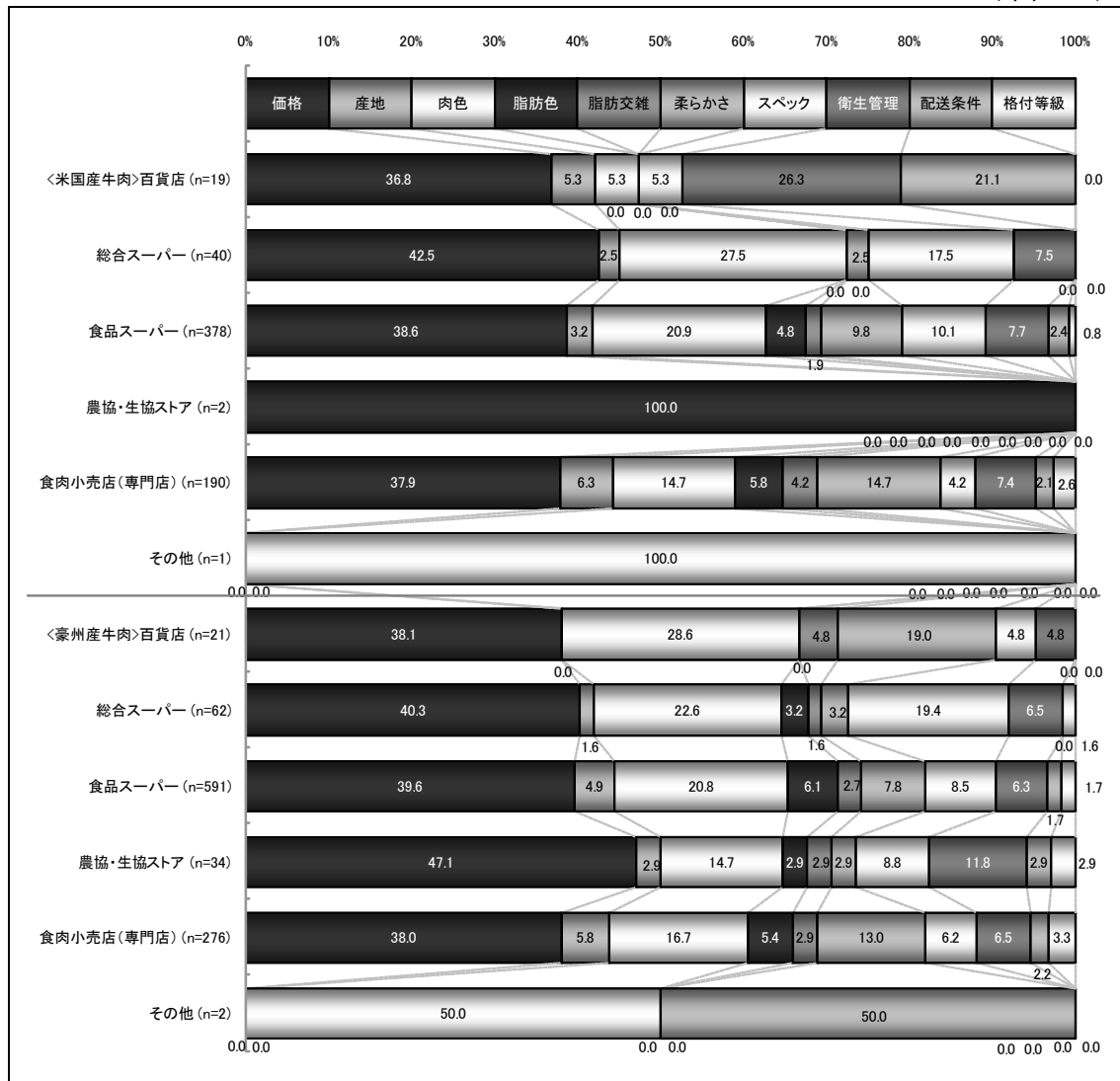
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

2) 輸入牛肉

■ 図表Ⅲ-39 「輸入牛肉」食肉仕入時の重視項目：品種別・業態別

(単位：%)



□ 「輸入牛肉」では「価格」を重視

業態を問わず「価格」を最も重視し、次いで「肉色」を重視している傾向が表れている。ただし、「米国産牛肉」の「農協・生協ストア」は回答店舗数が少ないため、回答に偏りがある。

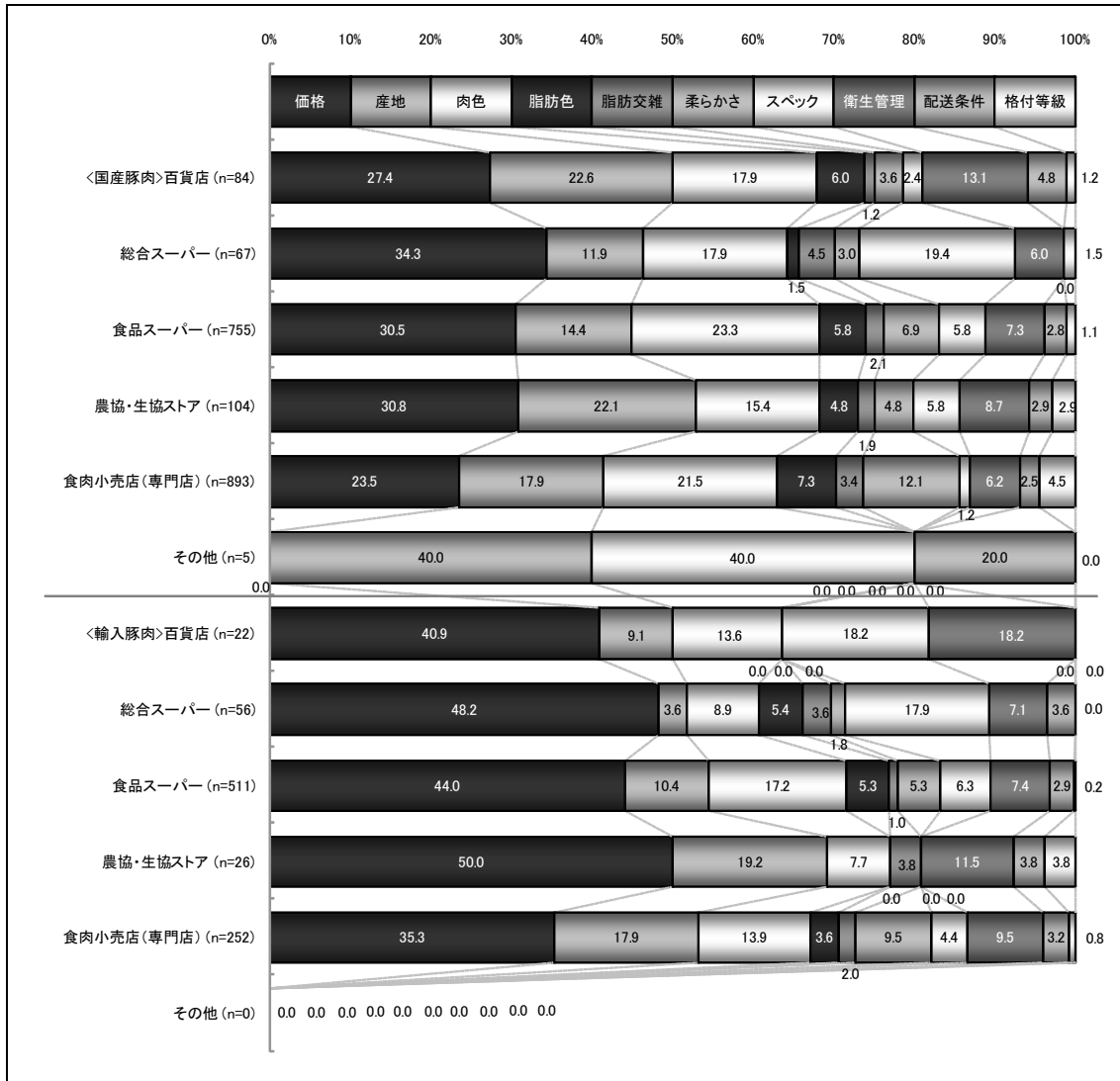
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

3) 豚肉

■ 図表Ⅲ-40 「豚肉」食肉仕入時の重視項目：品種別・業態別

(単位：%)



□ 「国産豚肉」では「価格」「産地」「肉色」、「輸入豚肉」では「価格」をより重視

「国産豚肉」に対しては、「価格」「産地」「肉色」が重視されている。「総合スーパー」では「価格」(34.3%)に次いで「スペック」(19.4%)のスコアが高い。また、「百貨店」では「衛生管理」(13.1%)、「食肉小売店」では「柔らかさ」(12.1%)が他の業態に比べてスコアが高い。

「輸入豚肉」では、「国産豚肉」以上に「価格」が重視されている。

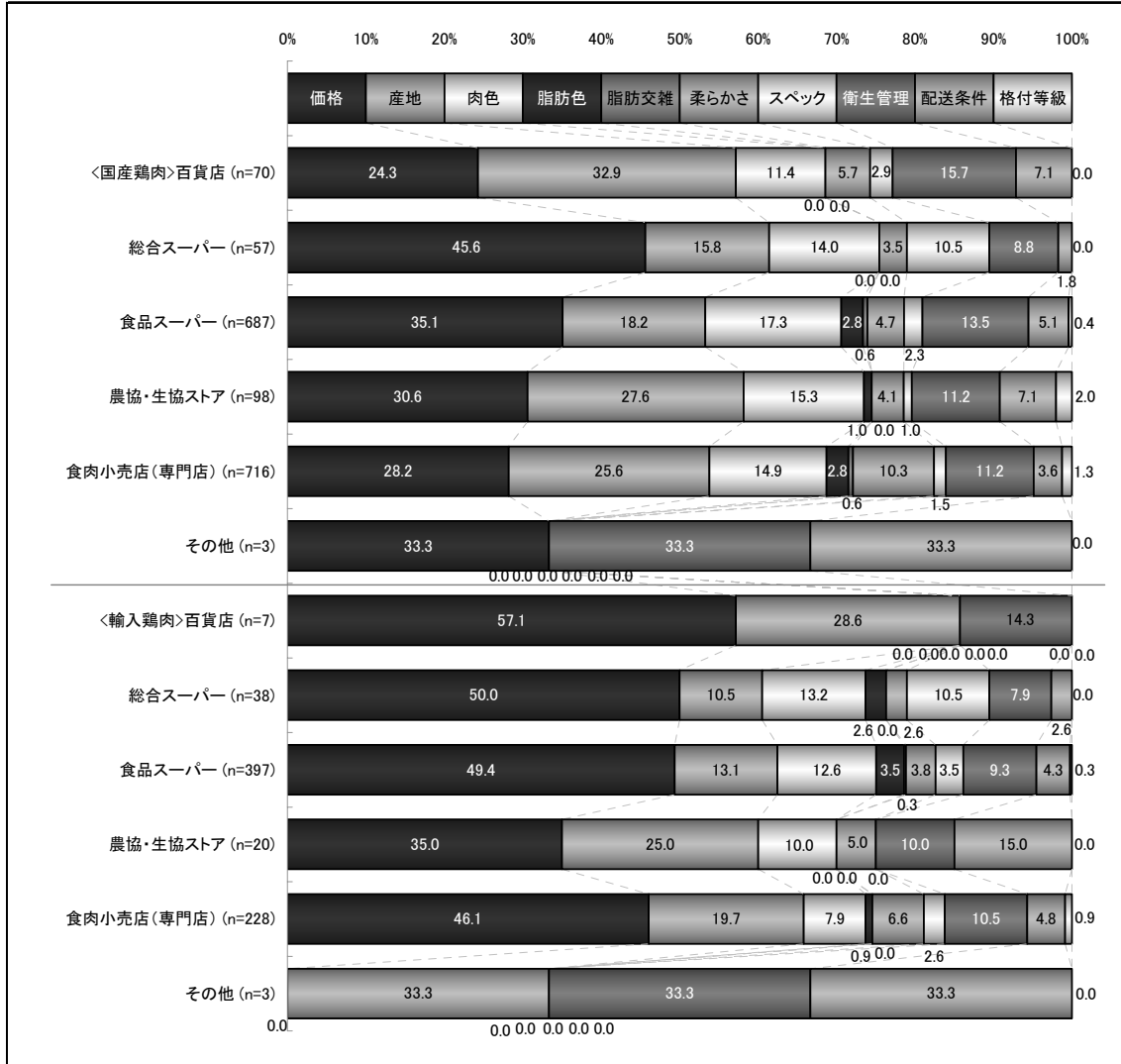
5 食肉仕入時の重視項目

2. 食肉仕入時の重視項目：業態別

4) 鶏肉

■ 図表Ⅲ-41 「鶏肉」食肉仕入時の重視項目：品種別・業態別

(単位：%)



□ 「国産鶏肉」では「価格」「産地」、「輸入鶏肉」では「価格」をより重視

「国産鶏肉」に対しては、「価格」「産地」が重視されており、次いで「肉色」「衛生管理」も全体的にスコアが高い。「百貨店」では「産地」(32.9%)のスコアが最も高く、「衛生管理」(15.7%)も比較的高い。

「輸入鶏肉」では、「国産鶏肉」以上に「価格」が重視されており、「百貨店」では57.1%を占める。